

月刊

ひでかじ



10
2019

9月22日にホテルローズガーデン新宿 別館 2F"卯月の間"にて「制服向上委員会 生誕27年祭」が行われました。参加メンバーは美香・優里彩・杏里の3名。まずは美香さんの『恋のインビテーション』でオープニング。制服姿での登場で、美香ちゃんコールが炸裂します。続いて杏里ちゃんが『青春ラブソディ』を披露。みんなで「ファイト！」と気合いを入れます。優里彩ちゃんはしっかりと『まだ見ぬ世界を信じて』を聴かせます。『恋は甘く切ない』は美香さんが熱唱。美香さんがオリジナルですものね…(ぼそっ)。そんな気分を察してか、杏里ちゃんが『明日に向かって！』と励まします(^;^;)。そして3人で『君だけの道』を披露してMCへ。最近してないけれど生誕祭ということで久々にグループ紹介を行います。続いてのメンバー紹介では年齢をごまかす美香さん(^;^;)。この公演は“全員制服着用”と指示があり、「私も入ってるんですか？」と聞いたとか。「着てよ！」の返事があり、「特別な公演なので着ました」と美香さん。すかざず“かわい〜コール”が響きます。27年の歴史があるSKiですが、「おそらく2013年の9月に初めてSKiの方々とお逢いした」と杏里ちゃん。「その1年前に」と優里彩ちゃん。「ここまで来ると卒業したとか関係ない」と美香さん(^;^;)。この3人で心を込めてお贈りすること。続いてテーマソングの『生誕祭の歌』を披露。この曲を聴くと生誕祭だなあと思うと美香さん。来年は大きな会場で大人数で出来たら…と希望を抱きます。「現役メンバーもいるといいですね」と杏里ちゃん。夢は大きく諦めずに！と纏めます。生誕3年祭からほとんどSKiと共に…と美香さん。そんな中から懐かしい定番コーナーで公開生徒総会を行います。議長は美香さんが務めます。テーマは生誕祭ということで『今迄関わってきたボランティアで印象に残ったこと』。最近ですが、“不登校に変わるネーミングプロジェクト”についてと優里彩ちゃん。自身も中二の頃にあまり登校出来なかったらしい。その時間を本やダンスで過ごせて充実していたので、不登校と片付けられなければ良いと思うそう。旧騎西高校に避難している方に会いに行く”というのに参加したことと杏里ちゃん。衝撃が強かったそう。最初はSKiのことを知らなくて参加して初めてお逢いしたとのこと。段ボールの中で過ごされてる方がたくさんいて、それまでニュースのことだけで自分から調べることは無かったけれど、2年経っても苦しんでる方がいるということを知って自分がどういうことをすれば良いか考えるきっかけになっそう。ちなみに衝撃はどっちに掛かっているんでしょう(ぼそっ)。“地球生物会議(ALIVE)”についてと美香さん。動物が大好きで殺処分なくて良い方法を読んでいて動物実験の恐ろしさを目のあたりにして、みんなに知ってもらいたいと思ったそう。SKiにいなかったらデモとかに参加することは無かったと思うとのことで、無力じゃないと信じて行動することを学んだそう。最近では香港でデモが起きていて若い人が多いと杏里ちゃん。「行動力というところで日本は他の国に比べて意見を発信するのに勇気がある」と指摘。若い人が言える世の中になって欲しいと美香さん。SKiが27年間取り組んできたことは間違いじゃなく、これからも世界に目を向けているんな問題に取り組んでいきたいと締めくくりました。



美香・杏里・優里彩

最初にデモに参加したときは怖くなかった？と問いかけられて、先輩達が頼もしくて付いていったと杏里ちゃん。普段の生活では出会えないところにいるんだなあと感じて、信じるということ学んだと優里彩ちゃん。かけがえのない時間をもらえたとのこと。27年間にいろいろな方と出逢ったと『出逢い』を披露します。続いて印象に残るような曲をお届けしたいと『けんえんの中』『ふざけるな！ヨッパライ運転』を披露します。「ストレス発散なんて気持ちは微塵も…」と杏里ちゃん。聴いていてスカッとしますね。そして活動の指針が決まったような曲と『ダッ！ダッ！脱・原発の歌』を披露しました。後半に突入して、上着を脱いで気合いを入れます。グループの中で影響を受けた人では、レッスン様のDVDで映像の中では昔の方が多いと杏里ちゃん。一緒に活動した中では優里彩さんとのこと。ダンスが苦手な、ある程度ステージに立てるようになったのは優里彩さんのおかげだそう。優里彩ちゃんは、田村千秋さんの影響を受けたそう。内面からでるエネルギーを感じて、同じように踊りたかったとのこと。美香さんにも影響を受けたけれど、真似をしても歌えないので観客状態だったとか。吉成圭子さんと望月菜々さんに影響を受けたと美香さん。個性あふれる先輩達に学べたのがすごいと思うとのこと。少しでも近づけるように、歌っている時は袖に行き行って聴いていたそう。同期では井上裕紀子ちゃんや斉藤美緒子ちゃんが上手くて触発されたようだ。美香さんがCDで歌った曲をお客さんの前で歌う時に、“美香さんと違ってごめんなさい”という気持ちがあったと杏里ちゃん。でもリーダーになっちゃった以降は、私がウジウジしていたら問題だなあと吹っ切れたとか。私もリーダーキャラでは無かったと美香さん。心構えが大変だったそう。集会で司会を務めたことのある優里彩ちゃんは、端っこにいたい派とか(^_^;)。グループにかける想いは一緒に、どれ一つ欠けてもここまで来れなかったと美香さん。いろいろなメンバーがいたことを忘れずに、歴史を消さないように頑張りたいと纏めます。ここからはどど〜んと曲を披露。『プロローグ～序章～』から『制服宣言！』『笑顔がスキッ！』『さよならは出逢いの明日へのしるし』『おはよう！』と続きます。久しぶりに踊るので汗だくと杏里ちゃん。カロリーを消費したのでこの後はいっぱい食べたいと優里彩ちゃん。ここで「振れるものはありますか？」と杏里ちゃん。振り切れる体重計ではなく、ハンカチーフを用意して『クルクル・ハンカチーフ』で盛り上がります(笑)。更に『渚に消えた初恋』『Sky』『天使の翼』『清く正しく美しく』『エピローグ～終章～』と続きます。まだまだ終わらせないと、アンコールで『Volunteer Spirit』『エメラルドの伝説』『SKiのテーマ』で盛り上がります。こんなにヘトヘトになったのは初めてで曲終わってコテツとなりそうと杏里ちゃん。充実した1日で今日はしっかりと寝れそうとのこと。現役の頃バックダンサーをしていた曲を歌えるの嬉しくて、SKiの定番曲を歌えてよかったと優里彩ちゃん。SKiの曲は古い感じがしないので、30年・50年・100年と歌い続けて欲しいとのこと。この疲労感凄く好きで、身体が別のものになっていて機械のごとく身体が動いてくると美香さん。『制服宣言！』など久しぶりに歌って、入ったばかりの風景を思い出させたとか。『エメ伝』や『笑顔がスキッ！』など、その時の気持ちを思い出して、私にとっての27年祭だったと振り返ります。SKiの曲をここで終わらせてはいけないので、28年際に向けて応援よろしく申し上げますと3本締めをして「制服向上委員会 生誕27年祭」は終了しました。



美香・杏里・優里彩・愛里彩

生誕 27 年祭に先駆けて「生誕祭記念アワ・ポラ」が行われました。参加メンバーは美香・優里彩・杏里の 3 名。受付で申込みをして、すぐにアワサッテルのツーショット撮影が始まります。1 口につき 2 枚ずつ撮影しますが、「なるべく同じポーズで」と注意が入ります。「目をつぶっちゃう対策?」とつぶやくと、顔を隠す杏里ちゃん(^^;)。心当たりがあるようです。今回は私服での撮影で、ファッションポイントをリサーチ。原色好きなので上も赤にしようと思ったけれど、国旗っぽくなるのでシンプルにしたと優里彩ちゃん。「ダボにダボで合唱団っぽくなった」とか。髪の毛に合わせて選んだと杏里ちゃん。大人っぽく秋っぽくとのこと。「研修生っぽい」と声が掛かります。清楚な感じで秋らしくと美香さん。しばらくして優里彩ちゃんがやってきます。すかさずリクエストが掛かり、予定には無かったけれど、急遽特別参加が決定。笑顔で応えてくれる優里彩ちゃんでした。



優里彩・杏里・美香・優里彩

生誕祭終了後、CHINA DOLL 新宿アイランドタワー店に移動して「みんなで楽しいお食事会」が行われました。美香さんの音頭で、生誕 27 年祭のお祝いを祝して乾杯してスタート。ここでは最近楽しかったことをリサーチ。夏は多々あったと杏里ちゃん。ほぼ 1 ヶ月バイトも入れず、昼夜逆転の予定の無い夏休みを過ごしたそう。2 泊 3 日で山梨にライブに行ったり、その 3 日後にも東京のライブに行ったり堪能した様子です。小・中と部活や習い事で休み無かったので、こんなにも何もしない夏休みって素晴らしいんだあ〜と思ったとか。いろんな種類の本を読んだと優里彩ちゃん。ミステリーも好きになったそう。iKON のライブにも行ったらしい。「釣り!」と優里彩ちゃん。船に乗って鱈を 20 匹釣ったらしい。釣った魚もさばいて煮付け・刺身・ソテーなどにしたそう。これが「初料理!」だったとか。ちなみに「お客さんを釣った?」との声に、「莉奈ちゃんにも逢った」と即答します(^^;)。メルカリに目覚めたと美香さん。「商品説明をしたりして、物販に向いているかも」と付け加えます。感想では、生誕 27 年祭という大事な日にライブには参加せずご飯だけ…と優里彩ちゃん(^^;)。ファンとして楽しませてもらったそう。過去一素敵なセトリで踊ってしまったとか。お客さんの体力に驚いていたようだ。SKI を離れた時期はあるけれど、たくさん愛があふれているから 27 年続いていると思うと優里彩ちゃん。好きな曲も多いので、歌い続けていきたいとのこと。メンバーともお話出来てお酒も飲めて私としても良かったと杏里ちゃん。ライブは久しぶりで、生誕 27 年祭というしっかりとした舞台上で 20 曲近く出るとは思わなくて必死こいて久しぶりに練習したそう。久々にライブした感じで、記念する日に出来て良かったとのこと。なんとか 3 人で乗り越えることが出来て良かったと美香さん。SKI がずっとやってきたスタイル出来て良かったとのこと。「来年はもっと大勢で出来たらと思うので、お客さんも頑張ってください」と促していました(^^)。



優里彩・美香・杏里・優里彩

9月8日にリンキィディンクスタジオ吉祥寺 ORES S スタにて「齋藤優里彩 23 歳のお誕生日会」が行われました。久しぶりにお誕生日会を開催してもらい嬉しいと優里彩ちゃん。でもぎっくり腰でお辞儀が出来ないとか(^;^;)。今迄は幼い頃のお話やメンバーとの思い出を話していたけれど今回ガラッと変えて、音楽や本が好きなので、本を紹介してそのイメージの曲を歌う方式にしたとのこと。熱しやすく冷めやすい性格ですが、唯一音楽と本は続いているようだ。ピンクレディーを好きになって、それがきっかけで歌詞カードを持ち歩くほどだったとか。好きになるととことんのタイプと優里彩ちゃん。小学生になってお祭りで親友と創作ダンスをする機会があり、そこでゼロから作り出すのが楽しくなって親戚の結婚式などで妹とダンスをしたり歌ったりしていたようだ。中学でも仲良しグループでダンスしたりでワクワク感があって、アイドルグループに入りたい意識が芽生えたようだ。カラオケでは大塚愛さんや K-POP を歌っていたらしい。「高校に入ってから行ってないという設定で…」とつぶやく優里彩ちゃん(^;^;)。小学生のころは外で遊ぶタイプだったけれど、1人は本を読んでいるタイプがいて、ミステリアスな雰囲気憧れて休みの日に本を読むようになったとか。高校に入って雑念無く読めるようになったと優里彩ちゃん。悩みを抱える時期で、言葉に出来なくて答えがあるかも…と開くのが本だったとか。ブログを書くようにもなって、気持ちをセレクトするようにもなったようだ。100%は無理だけれど、0.1ミリでも近くなることあって言葉の数が増えたとのこと。今も月に6冊くらい読むらしい。その中からお勧めの3冊を紹介します。まずは石田衣良さんの『4TEEN』。キザっぽい文章がとっつき憎いと思ったけれど、中学生時代を思い出す作品とのこと。もっと自由に生きても良いと思わせるようだ。この本のイメージから『I'm Free』『傷だらけの青春』を披露します。続いて重松清さんの『鉄のライオン』を紹介。80年代に上京して現代を行き来していて、出逢いと別れを描いた作品とのこと。12個のストーリーがありノスタルジックで、80年代は生きていないけれど懐かしさを感じるようだ。お酒が背景の話も多くて、ボトルキープを通しての文通がキュンとしたようだ。この本のイメージから『街角のクリオネ』を披露します。未来に夢を持って上京したけれど、切ない後ろ姿とネオン街の対比に切ないバラードが響くとのこと。最後は角田光代さんの『紙の月』を紹介します。これを読んで「お金って怖い」と思うとか。お金では絶対理まらないけれど、埋まるのでは…とってしまう展開に怖さがジワジワ来るようだ。お金の使い方には自分自身に使うタイプと誰かに使うタイプがあるけれど、私は圧倒的に後者と優里彩ちゃん。「酔っぱらったときに特に」とのこと、「私が払っとく～」と言ってしまつて次の日に後悔してるらしい(^;^;)。「お金は人を惑わす」を身をもって学んだようだ。お金の上に成り立った愛でも夢のように幸せだったのではと、『夢はいつも』を披露しました。続いては本とは関係なく歌いたかった曲で『恋の秘密』『ダンシング セブンティーン』『Good bye』を披露。憧れの曲を歌えて嬉しかったとのこと。「音楽と本だったら永遠に話せる」と優里彩ちゃん。まとめるのは下手だけれど興味を持って頂けたら嬉しいようだ。SKiに関わってから8年目で、一度離れた身ではあるけれど来て頂いて光栄とのこと。好きなものを詰め込んだ構成で曲も多めに歌えてワクワクして嬉しかったようだ。最後にお客さんから『Happy Birthday』の祝福を受けて、「齋藤優里彩 23 歳のお誕生日会」は終了しました。



